

ぱれっと

Palette

6

2020 June
vol.238

「TAC指導員の課題実践報告」 高松営農センターの取り組み内容

農を担う
米麦農家 高田 宜尚さん(左)、高田 善行さん(右)
興除地区……………10ページ

<https://www.ja-okayama.or.jp/>

JA岡山は、組合員募集中です!

耕そう、大地と地域の未来。



TAC指導員の課題実践報告

JA岡山営農振興計画に基づいた各営農センターTAC指導員の課題実践計画と取り組み内容について、TAC指導員と農業者の声とともにご紹介いたします。

— 高松営農センターの取り組み内容 —

● 水稻有望品種の安定した収穫量確保 ● 白皇®の裂皮軽減及び品質向上

広報 2つの課題実践計画を設定した経緯について具体的に教えてください。

は、「白皇®(PEH7号)」を晩生品種の機械選果対象品種として推進しています。

木梨TACリーダー(以下、木梨) 水稻については近年安定した収穫量を確保できていない状況が続いており、気象状況に負けず、安定した収穫量の確保を目指して有望品種「アケボノ」を選定しました。10アあたり10俵の収穫量確保と品質向上を目的として栽培管理・肥料試験の取り組みを行いました。

岡山県農林水産総合センターが育成した「白皇®」は、「おかやま夢白桃」と「白麗」を交配して誕生した品種です。糖度も高く、食味についても評価は良好ですが、外観では裂皮が多く、改善が必要となっています。そこで、掛け袋の種類別に裂皮軽減の効果の試験を行いました。

広報 設定した課題について、どのように取り組みましたか。また、どのような結果が得られましたか。

効果の向上、③高温対策・追肥施用による登熟の向上の3点を課題に取り組みました。

武田TAC指導員(以下、武田) 一宮選果場果樹部会で

木梨 水稻栽培の基本にもどり、①田植え後の水管理の徹底、②除草剤

武田 一宮選果場果樹部会で「白皇®」を栽培している3名に対して1樹あたり慣行と3種類の掛け袋を100枚ずつランダムに袋掛けを行い収穫果実を調査しました。結果として、慣行に比べ3種類の袋は遮光性が高



く、裂皮が軽減され、有望な掛け袋として部会で提案することができました。

また、裂皮について、今回は樹齢が若い時は平均して果実が小さく、裂皮はほとんどありませんが、樹齢が進むにつれ、ある程度の果実重にな

た時点で裂皮対策が必要と思われるます。摘蕾、摘花を行い、予備摘果を早

めに(満開後25日ごろから)行った方が裂皮が軽減される傾向でした。果実が大きいほど裂皮の発生が多く、また、袋掛けが遅れると裂皮が多くなる傾向となりました。

広報 2つの課題実践を遂行するにあたりよかった点、苦労した点について教えてください。また、課題や改善点がありましたか。

木梨 それぞれの地域の気象条件が異なるため、ほ場の位置や場所によっては収穫が安定しないほ場もあり、今後も再度試験を行う必要があると考えています。



武田 品種登録されて間がなく栽培者が少ないため、試験方法や試験区の設定に苦労しました。また、栽培上では、①袋掛け時期を遅くすると裂皮の発生が懸念されるため、5月下旬～6月中旬に行うこと、②袋の種類により、果面の仕上がりに差があること、③袋による裂皮抑制は補助的な手段と考え、極端な大玉となる着果管理をやめて樹

勢を安定させる管理を行うことの3つの注意点がありました。特に、摘果については、初期生育を促進する管理としての摘蕾・摘花の実施、予備摘果は結実が確認できたら直ちに取ること、清水白桃や白麗と同じように仕上げ摘果で間引き過ぎないこと、着果量の修正は生理的落果が終わったあと(満開後85日ごろ)に行うことなどに配慮しました。

広報 部会・生産者からの評価はいかがですか。

木梨 整備ができていない水田も多数ある中、高齢化も進んでいるため水管理を厳重に行うのは難しく、今期は新たな試験にもご協力いただき予定です。また、試験の結果を分析し、情報共有したいとの要望をいただいています。

武田 部会検討会で、備前広域農業普及指導センター、役員および青年部との中で意識統一ができた点に評価をいただいています。袋によっては裂皮程度は小さいものの、果皮が他に比べて白く仕上がり、収穫適期判



農業者の声

TAC指導員の取り組み内容に基づいて活動されている高松営農センター管内の組合員さんにお話を聞きました。(敬称略)

米農家



JA岡山西地区
良食味米生産部会

いたの ひろみ
板野 弘實

10年ほど前からJAの試験に協力しています。今回は水稻2品種で元肥と追肥の試験を行いました。良好な結果が得られてはいますが、詳細に分析して、今期も新しい試験に取り組み、さらなる安定収量の確保を目指したいと思います。

桃農家



岡一宮選果場果樹部会
副部長

いたの としひさ
板野 時久

部会として出荷時期や労力分散、出荷量の維持拡大を目指し白皇®を有望品種として今回の試験を行いました。

結果として、今後の掛け袋の統一はできましたが、まだコスト面での検討が課題となっているので調査を続けたいと思います。

桃農家



岡一宮選果場果樹部会
三和・足守副支部長

しげざね ひとし
重實 仁

就農3年目ということもあり、今回の試験で掛け袋が与える影響の大きさを実感し、自分自身の勉強になりました。少しでもベテランの方に近づくよう営農指導員に協力してもらいながら生産に励みたいと思います。



岡一宮選果場果樹部会
高松支部長
悦桃部会

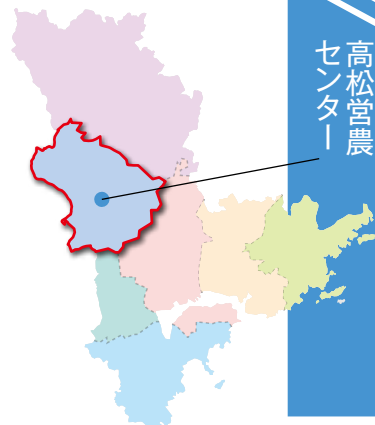
くり はら てつあき
栗原 哲明

従来の袋より厚みのある掛け袋を設定することで裂皮は軽減されましたが、袋の大きさやコスト面で改善を目指していきたいです。

儲かる農業を目指して、皆が希望を持って働けるよう営農指導員には積極的に指導してほしいと思います。

センター長に聞く

1年目の所感と
2年目への思い



高松営農
センター

広報 これまでのTAC指導員の活動評価ならびに今後の活動について期待することがあれば教えてください。

す。各TAC担当職員が積極的に出向き、生産者からの要望に応えながら活動をしてもらいたいと思います。

中尾センター長(以下、中尾) 当営農センター管内では広範囲にわたり水稻、果樹、野菜が栽培されています。

広報 今回、TAC指導員が設定した2つの課題実践計画について、現時点での取り組みについての評価を教えてください。

中尾 「水稻有望品種の安定した収量確保」については、需要の高い「アケボノ」を中心に安定した収量と農家所得の向上にむけ、地域にあった栽培方法と肥料試験を生産者の方々と一緒に行っています。

「白皇®の裂皮軽減及び品質向上」は、晩生品種「白皇®」の栽培により長期出荷に取り組んでいます。品質に影響をもたらす裂皮が問題となっています。掛け袋の比較試験により裂皮の軽減、糖度、肥大等の調査を行い、品質の改善に取り組んでいます。

広報 次年度の取組課題を設定するうえで方向性やTAC指導員に取り組んで欲しい課題等があればお願いします。

中尾 近年、水田貸付申込の要望等が多数あり、農地中間管理機構と大型農家との連携を図り、耕作放棄地・

休耕田が減少するように声掛けを日々行っています。水稻については、産地交付金の対象品目および地域振興作物を推進する必要があると考えています。果樹については、新規就農者・担い手の若い生産者が増えており、関係機関等との連携により、ほ場の確保・園地の流動化に向けてセンター職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。



予告

ぱれっと7月号では、JA岡山合併20周年特集を掲載予定です。

野菜

ニガウリはグリーンカーテンとしても果実としても人気です



営農部指導課
宮本 大輔

夏の野菜として特有の苦みとコリコリとした食感のニガウリは九州・沖縄で盛んに栽培されています。高温性であるので17℃以下では生育不良となりますが暑さには大変強く、大きな葉が涼しいグリーンカーテンとして日陰を作り、果実も食べられるため人気があります。

種類も太くて短いものや細くて長いもの白いものまで色々な種類があります。

●育苗

購入した苗を定植するほか、育苗では発芽には25℃以上の温度が必要になるので5～6月播きが適しています。直径9センチ程度のポリ鉢に2粒播き、本葉1～2枚のころに1本に間引きします。本葉3～

4枚のころが適期定植のタイミングです。

●畑の準備

日当たりのよい場所を選び、植え付け2週間前に10平方メートルあたり堆肥25鉢、野菜いちばん1・5鉢を土とよく混ぜます。畝幅は1条植なら130～150センチ、2条植なら200～220センチとネットの張りやすいように調整します。

●植え付け

株間は100～130センチ程度で植え付けます。

●手入れ

本葉6～7枚で摘心して4本の子づるを残して他は摘み取り、キュウリネット等を張って誘引します。生育を促すため一番果着果節位(15節程度)までの、わき芽・花芽はかき取ります。支柱の立て方には直立・合掌の方法があります(資料1)。フェンスを利用しつづるを絡ませる方法もあります(資料2)。

●追肥

追肥は果実が着き始めたころと収穫最盛期のころの2回行います。10平方メートルあたり野菜いちばん300グラムを施しますが追肥の量と回数は生育を見て行います。

花き

夏は、極力涼しく風通しのよい環境で



営農部指導課
中川 雄一

5～6月にはなやかに開花するカンパニユラ(風鈴草)を種から育ててみましょう。花言葉は「感謝」「不変」など真面目な印象です。ホタルブクロと近縁の二年草です。

●種播き

現在は秋播きで翌年の初夏に開花する品種もありますが、多くの品種は二年草です。一定以上の大きさに育った苗が低温(冬)に遭った後に高温長日を迎えると開花します。つまり、次の冬までに大きくならなかった苗は、来年は開花しないでもう一度冬を過ぎ次の初夏に咲くことになります。来年咲かせるためには、6月には種まきして苗を養成しましょう。発芽適温は15～20℃です。

清潔な育苗培土を使い、200穴程度のセルトレイか、ピートバンなどに播きます。ピートバン

では1センチ間隔程に播いて覆土しません。セルトレイは、播種前に用土を吸水させておき、播種後、ごく薄く覆土し、発芽まで新聞紙で遮光と保湿をすると安心です(資料4)。

●鉢あげと管理

セルトレイ苗はセルに根が回ったら9センチポットに植え替えて育苗します。(ピートバン利用の場合は本葉が出始めたころに一度5～6センチポットに移植します。)用土は市販の育苗培土を使うか、清潔な赤玉土などに腐葉土などの有機物、くん炭などを混ぜ保水性・排水性のよいものとし、少量の緩効性肥料を入れておきます。適量のくん炭を入れることで土壌酸度を中和する効果があります。

生育適温が15℃と低く高温期が苦手なので、夏は寒冷紗などで遮光し、極力涼しく通風のよい環境で管理しましょう。肥効不足なようなら適宜液肥で補います。

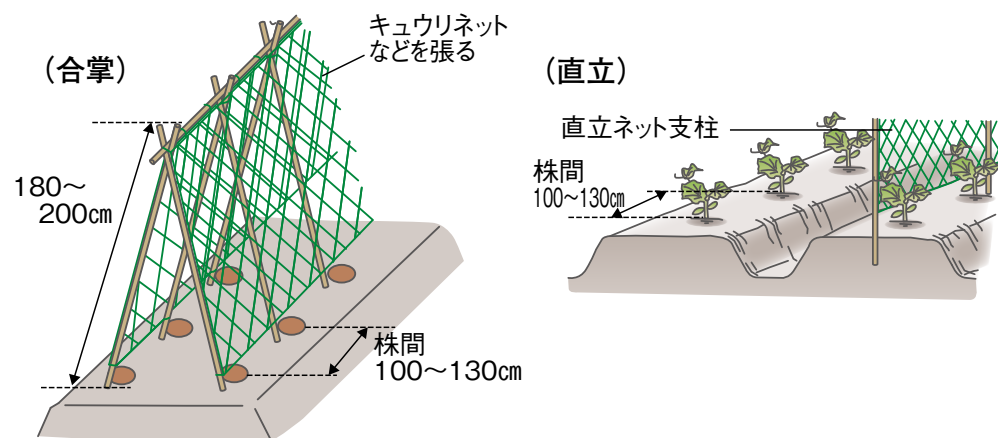
●定植

9～10月、畑や鉢に定植します。畑植えの場合は20～25センチの株間をとりましょう。ほ場は有機質が豊富で保水性・排水性が

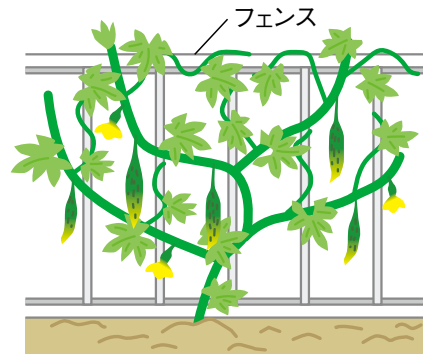
●収穫

開花後15～25日で果実の形が完成します。果実の色が鮮やかで気温が高くないうちに、早めに収穫するようにします。収穫時期が遅れると、やがて黄く橙色に変色しはじめ、完熟すると果皮が破れて中から種子が露出することもあるので若採りを心がけるようにします。

資料1 畑の準備と支柱の立て方

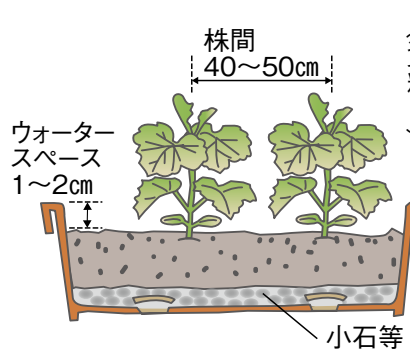


資料2 フェンスの利用



フェンスを利用して絡ませる

資料3 プランター栽培



プランター栽培ではできるだけ大きめのものを用意します。夏場の暑さで土がよく乾燥するので土の量も多めにします。プランターの底には小石や大玉の赤玉土を敷くと水はけがよくなり根腐れが防止されます。プランターの上には水が溜まるウォータースペースを作りましょう。灌水は苗が小さい内は少なめですが、大きく成長すると朝夕2回たつぷりとプランターの底から水が出るように行います(資料3)。

病害対策

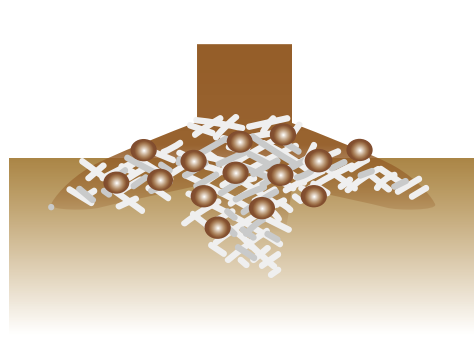
根腐病は、野菜や花の苗立枯れを起こす病原菌で、株元から根が侵され、進むと株が枯れます。排水不良や地中に未熟有機物が多いなどの場合に発生しやすくなります。

白絹病は、多湿を好み、地ぎわや根に絹糸状のカビが付き、粟粒状の菌核を作ります(資料5)。

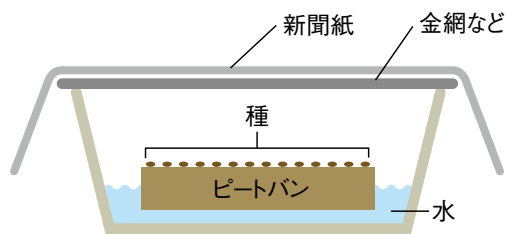
両病害とも、花き類に登録のあるリゾレックス水和剤の灌注やモンカッソフロアブル40の株元散布が有効です。

菌核病は白いカビと不定形の黒い菌核が特徴で、トップジンM水和剤が有効です。

資料5 白絹病の粟粒状の菌核



資料4 底面給水での播種



- ・発芽したら水を捨てる
- ・新聞紙もとるが直射日光にはあてない

果樹

多くの果樹の収穫量を調整する最終月です



営農部指導課
小野 智寛

今月は、多くの果樹が収穫量を調整する最終月となります。桃や梨の摘果と袋掛け、ブドウの摘粒と摘房、キウイや柿の摘果など果実の品質を決める大切な作業時期を迎えます。特に、ならせ過ぎや大きな房にしないことが美味しい果実を作る秘訣です。以下に、主な管理を記述いたしますので参考にして下さい。

●ブドウの摘粒

・ピオーネ

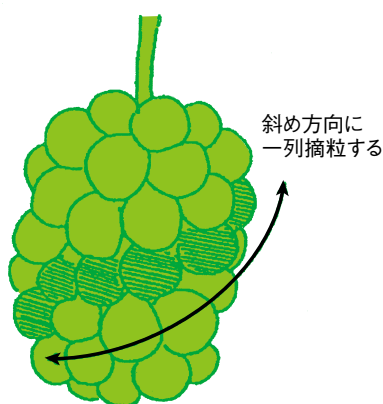
ジベレリンの2回目処理（果粒肥大処理として満開後10～15日）前から粒間引きを始め、余裕をもって作業を進めましょう。摘粒は内向き果粒、小粒、傷果などを優先的に間引きます。ポイントとしては、房の中心部を多く間引き、肩部や先端部はやや多めに残すとよい房形になります。果穂の残し方が大きい場合は大房となり、着色不良の原因ともなりますので、肩の車を摘粒前に2～3車切除し房

型を整えてから行います。残す果粒は35粒程度として大房にならないようにします。（満開後2週間以内に終了させましょう。）2回目のジベレリン処理後に摘粒を始める方は、果粒が肥大し、粒と粒が密着するまでの期間が短いので仕上げ摘粒のつもりで行います。仕上げ摘粒は込み合った部分を中心に間引きます（摘粒程度は5粒程度）。

・仕上げ摘粒の例

摘粒は果粒肥大を想定して行いますが、遅く行くと摘粒後の穴が塞がらなかつたり、残す粒を傷つけてしまうことがあります。早く行くと房の内側に粒を挟んだりします。仕上げ摘粒が遅れた場合や予想以上に密着した場合は斜め一列に摘粒すると房形を損なわず間引く事が出来ます（資料6）。

資料6 仕上げ摘粒の例



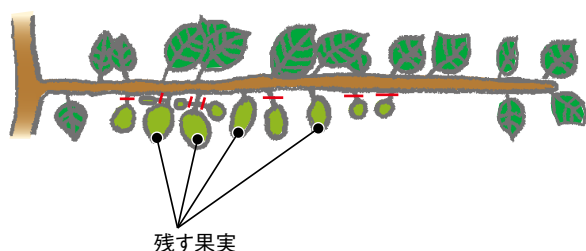
●キウイの摘果

開花後10日ごろから行い7月上旬には仕上げ摘果を行います。目安は5～6枚の葉に1果程度ならせるとよい果実になります。短果枝（30cm以下）には1～2果、中果枝には3～4果、長果枝（1m以上）には4～5果程度着果させます。

摘果をしていなかった枝では側果がついていきますので側果は全部摘果します（残しておいても大きくなりません）。

摘果は小果、病虫害果、側果、扁平果から摘果し、仕上げ摘果で基部果や先端果を摘果し着果程度を調節します（資料7）。

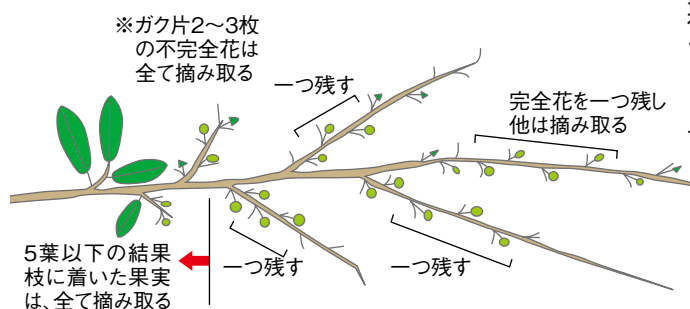
資料7 キウイの摘果例



●柿の摘果

せん定で結実量の調整はある程度できますが、結実位置までは特定することはできません。摘果することにより、ならせる位置が特定できるので、その果実を大きくしたり、隔年結果を防ぐ事ができます。まず、予備摘果を6月下旬までに行い、生理落果が少なくなる7月上旬に最終摘果を行います。残す果実は結果枝基部から数えて2～3番目の横向き果で、ガクが正形な大きな果実です（資料8）。

資料8 柿の仕上げ摘果例



新ジャガとアスパラの
バター煮

作り方

- (1) ゆでた新ジャガイモは厚めに輪切りにしサラダ油で素揚げする。
- (2) 鍋にだし汁とバターを入れて中火にかけ、沸いたところに素揚げした新ジャガイモを入れて弱火にして10分ほど煮る。
- (3) 同じ鍋にアスパラガスとトマトを入れ3分ほど煮る。
- (4) 仕上げにしょうゆを入れ、塩・こしょうで味を調え器に盛り、紫芽を散らして出来上がり。

レシピ提供 / 永井智一(ながいともかず)
茨城県笠間市にある「天晴(旧キッチン晴人)」オーナーシェフ



材料 (2人分)

新ジャガイモ……………ゆでた物2個
アスパラガス……………ゆでた物5本
トマト……………中1個(4等分)
紫芽(むらめ、赤シソの若芽)……………適宜
サラダ油……………適宜
かつおだし……………2カップ
バター……………大さじ1
塩・こしょう……………適宜
しょうゆ……………小さじ1/2

Aglogram

あぐろ
グラム

編集後記

花で明るく前向きに

今回のあぐろグラムでは藤田支所玄関の花壇を紹介します。新型コロナウイルスが全国で猛威を奮っていますが、少しでも皆さまの気持ちを晴れやかにできるよう職員で整備しました。

当組合でも感染拡大防止のためイベントを止む無く中止したり、飛沫感染防止のつい立てを窓口に設置したりしています。皆さまも今後の状況を危惧されていることと思いますが、早く終息に向かうことを願うばかりです。

農作業は休むわけにはいきませんが、お身体に気をつけてお過ごしください。



編集担当 住吉 沙弥香